

(工学部・工学研究科)
公益財団法人小林国際奨学財団 2019 年度
外国人留学生小林奨学生(一般奨学生)の募集

H31.2.5

1 応募資格・・・次のすべてに該当する者

- 1) アジア諸国から来日し、H31 年 4 月 1 日現在で 35 歳以下の私費留学生(在留資格「留学」)
- 2) H31 年 4 月 1 日現在、学部学生は 3 年次生以上、大学院生は正規生として在籍し、残在籍期間が 1 年以上ある者。
※留年者は除く。
- 3) 日本語による意思伝達が可能な者。(研究内容や将来の目的等を説明できる者)
- 4) 日本人学生との交流、地域社会での国際交流等に積極的であること。
- 5) 異文化理解(とくに日本文化理解)に意欲があること。
- 6) 財団が年 3 回主催する交流会に出席できる者。

2 支給金額・期間

学部生: 月額 15 万円、大学院生: 月額 18 万円

期間: 在籍課程の正規修了年限まで。 ※博士前期の場合には最長 2 年間、博士後期の場合には最長 3 年間)

3 提出書類

- 1) 奨学金申請書(所定用紙・日本語自筆・写真貼付・A4 用紙一枚) ※「大学の担当部課」欄は記入不要
 - 2) 履歴書 (所定用紙・日本語自筆・A4 用紙一枚)
 - 3) 身上書 (所定用紙・日本語自筆・A4 用紙一枚)
- ※日本での連絡先は一時帰国等の可能性のある知人(留学生)はなるべく避けること。
- 4) 身上書の別添記入用紙 (所定用紙・日本語自筆・A4 用紙一枚)
 - 5) 在学証明書 (入学予定者は合格通知書の写)
 - 6) 在留カード両面の写し (住所、氏名、在留資格の確認)
 - 7) 成績証明書: 現課程および前課程の者(学部生は現課程のみ)
 - 8) 指導教員による推薦書 (任意様式・4用紙1枚・厳封)
 - 9) 私費外国人留学生身上調書 (所定用紙)
 - 10) 家計状況申告書 (所定用紙)
 - 11) 指導教員による成績評価 (私費外国人留学生各種奨学金申請用) (所定用紙)

4 推薦人数等 学部生: 1 名 大学院生: 1 名

5 申請書の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日 平成 31 年 2 月 18 日(月)

※総長特別奨学生でも応募は可能ですが、授業料免除申請は不可となります。

※平成 31 年度に他奨学金の受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者は推薦対象外です。

履 歴 書

(2019年 月 日現在)

(フリガナ)

氏 名 _____

来日年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学 歴 等 (自国の高等学校入学以降、現在に至るまで、年代順に記入のこと)

入学・卒業年月	学 校 名	専攻学科	正規年数
年 月～ 年 月	高等学校		
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
日本語能力試験	受験年月	テスト名	受験地
	年 月		
	年 月		
	年 月		
		受験級	合否及び取得点数
			合 ・ 否 /
			合 ・ 否 /
			受験予定
日本語学習歴	学校名	所在地	学習期間
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
兵 役	過 去	年 月 日～	年 月 日
	将来の予定	年 月 日～	年 月 日 <input type="checkbox"/> 不明
賞 罰			
(学校等での表彰を含む。)			

職 歴

勤務先名(所在地)	職務内容(役職名)	勤 務 期 間
()		年 月～ 年 月
()		年 月～ 年 月

身 上 書

(2019年 月 日現在)

(フリガナ)
氏 名 _____

あなたの本国の住所 _____

電話番号 _____

家 族 状 況

家 族 氏 名	続柄	年 齢	現 住 所	職 業 ・ 勤 務 先 又 は 学 校 名
	父			
	母			

経 済 状 況

収入源 (2018年度)	平均収入月額	摘 要		
(1) 本国等からの仕送り	円	仕送り者名:		
(2) アルバイト	円	職務内容:		
(3) 奨学金	円	奨学金の名称:		
(4) その他の収入	円	内 容:		
(1)～(4) の合計	円			
奨学金受給歴	奨学金月額	受給期間		奨学金の名称
	円	年 月～	年 月	
	円	年 月～	年 月	
	円	年 月～	年 月	
現在受給中又は応募中のもの	円	年 月～	年 月	
住居費月額(食費は含めず)	円	同居者の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
住居区分		<input type="checkbox"/> 国際交流会館 <input type="checkbox"/> 学寮 <input type="checkbox"/> 会社寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他		
授業料年額 (2018年度)	円	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 一部免除 <input type="checkbox"/> 免除なし		

自分の国へ一時帰国している時、長い間旅行している時などの日本での連絡先

(フリガナ)			
氏名	申請者との関係 ()		
現住所	(〒)	電話 ()	-

日本留学の目的	(別添の用紙に記入すること)
将来希望する進路 (又は留学後の予定)	(別添の用紙に記入すること)

2019年度

公益財団法人小林国際奨学財団外国人留学生奨学生募集要項

(一般奨学金)

1. 応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、アジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院に在学する者で、2019年4月1日現在、35歳以下の者
- (3) 修学のために経済的援助を必要とする者で、他の奨学金を受けていない者
(ただし、月額5万円以下の奨学金受給は可)
- (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康である者
- (5) 日本語による意思伝達が可能である者
- (6) 国際理解と国際友好親善に寄与できる者
- (7) 奨学生交流会（年3回を予定。うち1回は研修旅行）に出席できる者

2. 新規募集人員 33名程度（財団の年間奨学生55名）

3. 対象学年

学部学生の場合：2019年4月現在、3年次生以上（6年制学部、5年次生以上）に在学する者

大学院学生の場合：2019年4月現在、正規生として在学する者
ただし、所定の必要最少限の修業年限内の者（いわゆる留年なし）を原則とする。

4. 奨学金 学部生 月額15万円 大学院生 月額18万円

5. 奨額金支給期間

学部学生、大学院学生ともに、支給開始年度から在学課程最終年度まで、すなわち、学部及び修士（博士前期）課程学生は2年間、博士（博士後期）課程学生は3年間を原則とする。

ただし、学部及び修士課程の最上級年次の奨学生は、原則として1年間とするが、上級課程に進学した場合は、それぞれ最長2年間又は3年間の範囲内で継続が可能。

6. 募集方法

大学を通じて募集する。

7. 応募の手続き

次の書類を揃え、在学する大学において指定する日までに、大学の事務局に提出する。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
- (2) 履歴書（所定の様式）
- (3) 身上書（所定の様式）
- (4) 在学証明書（大学院各課程入学予定者は、合格通知書（入学許可書）の写し）
- (5) 在留カードの写し（住所、氏名、在留資格の確認）
- (6) 成績証明書：直前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等
- (7) 推薦書（学部長、研究科長又は指導教員による封緘書）
用紙は、A4サイズで1頁

8. 選考及び決定

推薦された者について、本財団に設置する選考委員会の選考を経て、理事長が奨学生を決定する。

採用決定者については、4月下旬、大学及び本人に通知する。

9. 奨励金の支給の停止又は打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨励金の支給を停止又は打ち切ることがある。

- (1) 一月以上病気等により又は理由なく長期欠席したとき
- (2) 休学又は外国へ留学したとき
- (3) 在学する大学における学籍を失ったとき
- (4) 学則により処分を受けたとき
- (5) 病気その他の理由により成業の見込みがないとき
- (6) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- (7) 無断で奨学生交流会を欠席したとき
- (8) 妊娠、出産等で学業が一時継続できなくなると判断される時
- (9) 応募書類の記載事項に重大な虚偽が発見されたとき
- (10) 本財団又は本財団の支援企業（者）の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
- (11) その他留学生としての資格を失ったとき

10. 報告書の提出

奨学生は、理事長から求めがあったときは、学習の状況（学業成績を含む。）及び生活状況について報告書を提出しなければならない。

11. 注意事項

この要項に記載してある事項について不明の点があれば、大学の事務局に照会すること。

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は黒の万年筆またはボールペンで書くこと。

2019年度奨学生申請書について

在学大学名等欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名を記入する。
大学院の場合は、研究科名・専攻名を記入し、該当する課程に○印をつけること。
学年は平成31年（2019年）4月現在によって記入する。

「履歴書」について

- (1) 学歴については卒業した学校名を記入すること。（複数の場合はすべて記入）
- (2) 大学院については自分の属する課程を○印で囲むこと。
- (3) 職歴については本国および日本における職歴を記入のこと。

「身上書」について

- (1) 家族氏名欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹について記入すること。
- (2) 職業・勤務先欄は、具体的に記入する。できれば役職等も記入すること。
父母死亡の場合は「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。
在学中のものは学校名を記入すること。
- (3) 配偶者が留学生で日本政府奨学金、その他の奨学金を受けているときは、「経済状況」の「(3) その他の収入」欄に記載すること。
- (4) 「日本留学の目的」欄、および「将来希望する進路（又は、留学後の予定）」は、別紙用紙に記入すること（各200字以内）。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

* 2019年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調査書

2019年4月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	<input type="checkbox"/> 東北大学国際交流会館 <input type="checkbox"/> 三条ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 青葉山ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 仙台第一国際交流会館 <input type="checkbox"/> 仙台第二国際交流会館 <input type="checkbox"/> 県・市営アパート(住所) <input type="checkbox"/> 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

* 2019年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

家計状況

* 2018年4月から2019年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2018年10月入学の方は、2018年10月から2019年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収 入		支 出	
自国の家族等からの送金	円	食 費	円
奨学金(本人)	円	家 賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合 計	円	合 計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成31年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成30年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成29年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。**(2019年4月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)**

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____
所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印